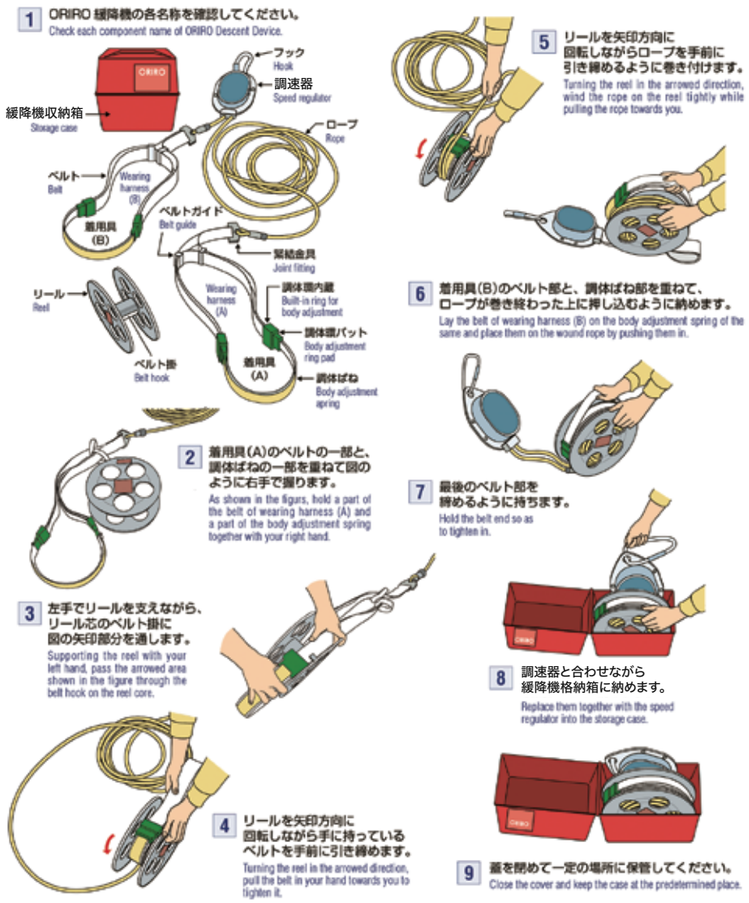
ORIRO緩降機 収納方法

Storing Method of ORIRO Descent Device



このたびは、ORIROの緩降機をご利用いただきまして誠にありがとうございました。

- ご入居されましたら、まず緩降機が設置されている場所をご確認ください。
- お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- 万一に備えて、この取扱説明書は大切に保管してください。

取扱上の注意

お使いになる人への危害を未然に防止するため、お守りいただくことを、説明します。
表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示します。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物理的障害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。



お問い合せは・・・・・

●本製品は予告なく変更することがあります



ORIRO オリロー株式会社

本　社　〒112-0001　東京都文京区白山 4-25-6
URL : https://www.oriro.co.jp　e-mail : oriro@oriro.co.jp

札幌支店	〒060-0008	北海道札幌市中央区北 8 条西 24-1-3 TEL. 011-640-7744　FAX. 011-615-8299
東北支店	〒983-0043	宮城県仙台市宮城野区萩野町 1-16-6 TEL. 022-208-7744　FAX. 022-208-7747
北関東支店	〒350-2201	埼玉県鶴ヶ島市富士見 4-28-35 アークパレス 1F TEL. 049-279-7744　FAX. 049-279-7745
東京支店	〒112-0001	東京都文京区白山 4-25-6 TEL. 03-3814-7744　FAX. 03-3813-2909
横浜支店	〒232-0061	神奈川県横浜市南区大岡 2-17-24 TEL. 045-277-7744　FAX. 045-277-7745
名古屋支店	〒453-0804	愛知県名古屋市中村区黄金通 1-3 ファンファーレ黄金 1F TEL. 052-352-7744　FAX. 052-352-7775
大阪支店	〒552-0007	大阪府大阪市港区弁天 2-14-24 TEL. 06-6572-7744　FAX. 06-6574-2994
九州支店	〒815-0031	福岡県福岡市南区清水 3-9-21 TEL. 092-551-7744　FAX. 092-511-6555
新潟営業所	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王 724 TEL. 0256-92-7744　FAX. 0256-92-4949
埼玉東営業所	〒336-0022	埼玉県さいたま市南区白幡 5-16-20 ピューロ MK1F TEL. 048-829-7400　FAX. 048-829-7410
千葉営業所	〒273-0033	千葉県船橋市本郷町 421-2 大塚ビル 1F TEL. 047-311-4470　FAX. 047-311-4474
東京西営業所	〒183-0022	東京都府中市宮西町 3-5-4　パークヒル 2F TEL. 042-319-0644　FAX. 042-319-0844
メンテナンス部	〒113-0001	東京都文京区白山 1-23-12 清水ハイツ 1F TEL. 03-3815-7744　FAX. 03-3815-7745
広島出張所（九州支店管轄）	〒732-0052	広島県広島市東区光町1-11-5 チサンマンション広島506 TEL. 082-258-7220　FAX. 082-258-7221

2026.07　改訂版

備えあれば 安心・安全ライフ

ORIRO

ORIRO 緩降機
取扱説明書

緩降機とは降下速度を一定の範囲に調整されたもので、 使用者が他人の力を借りずに自重で降下でき、つるべ式に一人ずつ交互に何人でも安全に避難できる避難器具です。

国家検定合格品
型式承認番号
ORIROIII　降第28～1号
ORIROII　降第22～1号

ORIRO緩降機

■正しい使用方法

下記の手順で正しい操作を行なってください。

1 緩降機の側面に付いているラッチ錠を外し上蓋を開けてください。

※屋外の緩降機屋外格納箱に収納されている場合は、そこから取り出し上記の操作を行なってください。



2 フックを持ち、調速器とリールを合わせて取り出してください。



3 取付金具に調速器を取付ける。安全環（止め金具）の付いている部分に指を掛け内側に曲げ口を開け、取付金具アーム先端の吊環に掛けてください。指を離すと内蔵されているスプリングの力で元に戻ります。安全環を右に回して、締めてください。



注意 吊環に掛ける時、指を挟まないようご注意ください。

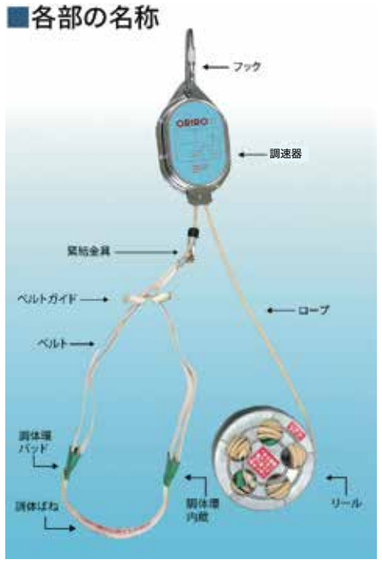
危険 安全環を確実に締めた事を確認してください。（締めないで使用すると危険です）



4 ロープの巻いてあるリールを投下します。

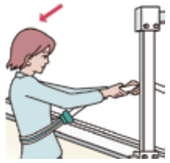
注意 地上に人がいない事を確認して投下してください。

■各部の名称



5 着用具を頭からかぶり、右図のように胴部に装着してください。

危険 誤って長いロープ側の着用具を装着すると墜落する危険があります。



6 地上に投下しているロープと、装着した着用具側のロープを2本同時にしっかりと手で握った状態で外に出てください。



D型（床付用）



●緩降機屋外用格納箱の両側面のラッチ錠を開放してカバーを取り外します。各種、屋外用格納箱は同じ操作方法で取り外します。

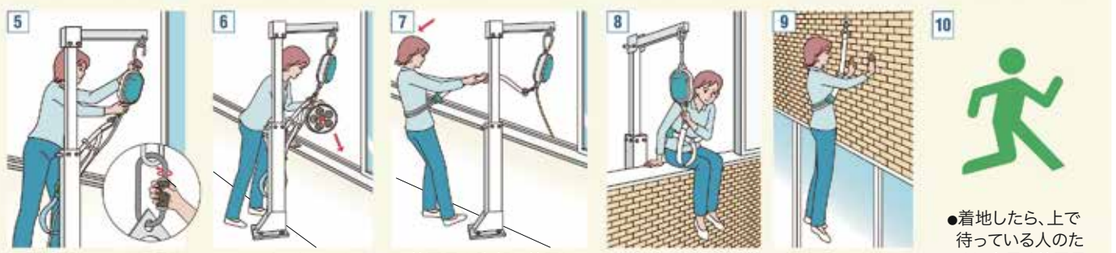
使用方法



●カバーを取り外します。

●吊環を持ってアームを外に倒すように引上げます。

●両手で取手を持ち、ストッパーが作動するまで支柱を引上げます。



●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。

●ロープの巻いてあるリールを外に投下します。

●着用具を胸部に着用し、ベルトを両手で持ち身体を後ろに倒すと、ベルトが締まります。

●2本のロープを持って外へ出て、身体を壁面に向けてロープを離して降下します。

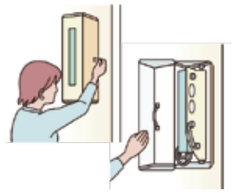
●着地したら、上で待っている人のために素早く着用具を外し、安全な場所へ避難してください。

■各種取付金具使用方法

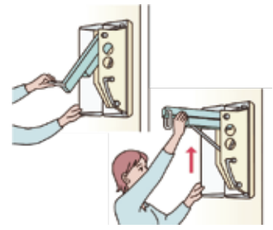
●取付金具が設置されている場所と機種を確認してください。

●各機種とも絵図の説明後は、「D型」使用例「5～10」の操作手順で行なってください。

B型



●BOXのラッチ錠を外しカバーを開けます。

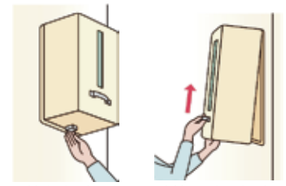


●アームの先端を持ちストッパーが作動するまで持ち上げます。



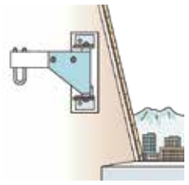
●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

B型（ケンドン式）



●持ち上げるように手前に引き上げてカバーを外します。以後は「B型」と「D型」の操作手順で行なってください。

C型





●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

屋外（固定式）



●調速器のフックを吊環に掛け安全環を確実に締めて確認します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

屋外（回転式）



●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。



●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

LE型



●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

D1型（一動作式）

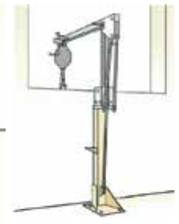




●取手を持ち、ストッパーが作動するまで持ち上げます。連動してアームと調速器が外に出ます。



●評定品はリールが自動で降下します。



● 以後は、「D型」の操作手順で行なって下さい。

DSR型



●操作は「D1型」と同じで、取手を持ち、ストッパーが作動するまで持ち上げます。



●調速器を吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。



●アームの先端を外に向けて押し出します。以後は「D型」の操作手順で行ってください。

DA型



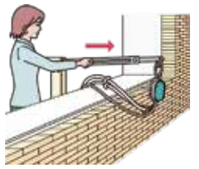
●屋外のBOX両側面のラッチ錠を開放してカバーを取り外します。

●一段目の支柱の取手を両手で 持ち、ストッパーが作動するまで引き上げます。

●二段目の支柱の取手を両手で持ち、ストッパーが作動するまで引上げます。

●調速器を吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

DS型



●操作は「DA型」と同じで、アーム部分がスライドします。スライドハンドルでアームの先端を外に向けて押出します。以後は「D型」の操作手順で行なってください。

壁付用

操作方法は、各機種と同じ操作手順で行なってください。

